



2025年度 経済学部 入門のしおり

甲南大学 経済学会

目次

まえがき	1
Ⅰ 経済学部へようこそ	3
各経済学部教員からのメッセージ(五十音順)	5
Ⅱ 経済学部の先生方に質問	29
各経済学部教員にアンケート(五十音順)	30
Ⅲ 先輩からの学習アドバイス	77
Ⅳ 新入生へ卒業生からのメッセージ	83
「新入生のみなさんへ」 布引 藍子	85
「新入生のみなさんへ」 黒岡 華子	86
Ⅴ 経済学会について	87
Ⅵ 甲南大学経済学会会則	91
総会規程・評議員会規程	94
卒業生会員細則	95

ま え が き

入学生みなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この「入門のしおり」は、みなさんが経済学を学んでいく場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生みなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないかもしれません。ぜひこの冊子を読んで、今後の学びの参考にしてください。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、「2025年に大学生になる人へのメッセージ」をテーマとし、経済学部の先生方から新入生の皆さんへ向けたメッセージをいただいています。先生方の豊かな経験から紡がれた言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になれば幸いです。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、「甲南大学 経済学部生として充実した大学生活を送れるように」をテーマとした質問を先生方に答えていただいています。このページを見ることで、皆さん大学生活や経済学を学ぶことに対する恐れや不安が少しでも取り除かれることを願っています。

『Ⅲ 先輩からの学習アドバイス』では、1 年生の必修科目である「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」の学習に関する在学中の学生からのアドバイスを掲載しています。

『Ⅳ 卒業生からのメッセージ』では、甲南大学経済学部を昨年度に卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅴ 経済学会について』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織のことがよくわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2025 年 4 月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同



経済学会へようこそ！

足立 泰美先生	5	寺尾 建先生	17
石川 路子先生	6	中川 真太郎先生	18
石田 功先生	7	林 健太先生	19
永廣 顕先生	8	林 亮輔先生	20
岡田 元浩先生	9	平井 健介先生	21
萩巢 嘉高先生	10	宮尾 龍蔵先生	22
奥田 敬先生	11	宮川 敏治先生	23
奥山 鈴香先生	12	宮本 舞先生	24
小佐野 広先生	13	村澤 康友先生	25
鎰谷 宏一先生	14	森 剛志先生	26
高 龍秀先生	15	森本 裕先生	27
小山 直樹先生	16		



大学生になる人へのメッセージ

足立 泰美

新たな学生生活への大きな一歩を踏みだした皆さん。小学校、中学校そして高校を経て、大学生活が始まります。期待が高まる思いで、いっぱいだと思います。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1 時間目は数学、2 時間目は国語といった既に時間割が組まれた高校までの生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず、受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、どの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1 年目には何を修めておかねばならないのか、2 年目にはどの科目を選択しておくのが望ましいのか、3 年目は1 年目と2 年目で培われた知識と経験をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位を選択し、自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割が、将来の皆さんの人生に繋がります。そこには自由という名のもとで、自分の選択への責任という言葉が、背後にあります。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から社会人へと変わりゆくとき、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となり、自分が作ったスケジュールの責任をおいます。そこには一日 24 時間という制約された条件のなかで、自分の拘り定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活 4 年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さん、皆さん自身が自分の力で未来ある人生を築いていくことを切に願っています。

AI 時代に必要な力とは

石川 路子

ご入学おめでとうございます。この4月から始まる新たなステージ。皆さんの中には不安な気持ちを抱えている方もいるかもしれません。ただ、新たなスタートは、皆さんの可能性を大いに引き出すチャンスです。ぜひ何事にも怖がらずに挑戦してみてくださいと思います。

近年、私たちの社会は過去に例を見ないくらいのスピードで変化し続けています。その中でも AI (Artificial Intelligence) は人間の 10 万倍の早さで発達していると言われています。AI とは人工知能を指し、この技術がさまざまな分野で応用されていく時代のことを AI 時代と呼びます。皆さんが生き抜くこの AI 時代にはどんな資質が求められるのでしょうか。

インターネットで「AI 時代に必要な力」と検索すると「チャレンジ精神」「主体性」、「発想力・創造性」、「対人関係能力」、「課題解決能力」などが出てきます。これからの時代は、人間は AI が難しいタスクを担うという点でも人間が優位性を持つ（と考えられている）これらの資質が重要であるとされていますが、私は改めて皆さんに「自分の頭で判断できる力」を身につけることをオススメしたいと思います。

これから皆さんは、課外活動の選択や就職活動時など、多くの場面で自分自身の意志が問われる場面に直面します。もし自身の将来の選択に迷い AI にアドバイスを受けることができたとしても、最後は自分にとってより良い選択肢は何かについて自身で判断できなければ、後に後悔や不満が残ってしまうかもしれません。AI に自分を支配されてしまわないようにするためにも、自身の判断力を信じる強さが求められるのかもしれません。

アメリカで著名な起業家イーロン・マスク氏は「たぶん、いずれ人類は絶滅する。おそらくはテクノロジーの進化のせいで」と述べているように、多くの専門家や研究者が「AI による人類滅亡」の危機に警鐘を鳴らしています。AI は私たちの生活を便利にする一方、私たちが自身の頭で考えることを辞めてしまえば、もしかしたら AI に支配される時代もそう遠くないのかもしれません。

自分の判断力を高めるためには、単に知識を詰め込むだけではなく、それを実社会でどう活かすのかを考えるなど、応用力を養うことが重要になります。応用力は新たなことにチャレンジしてみることで身につけることができます。これから始まる大学生活は、皆さんにとって判断力を養うチャンスを大いに与えてくれます。ぜひみなさんがこれから楽しく充実した大学生活を過ごされ、これからの社会に貢献できる人材となりそれぞれの夢を実現することを願っています。

大学生になる皆さんへ

石田 功

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

早速、深刻な話題で恐縮ですが、今というこの瞬間は、AI 革命による社会激変の前夜なのかもしれません。大袈裟な例えになりますが、巨大隕石が地球衝突コースに突然出現したような状況かもしれません。いつの時代も「今は激動の時代」と人は口にします。ただ、今回だけは違うかもしれません。多くの職種で、長年かけて習得する技能が AI によって一夜にして代替され、雇用が失われるのではないかという懸念が広がっています。10～20 年先に起こり得ることとしてこれまでも議論されてきましたが、皆さんもご存知の ChatGPT 等の生成 AI 登場が、専門家だけでなく一般の人々の認識も大きく変えました。2023 年には、世界的な AI 研究者や企業家が一部 AI 開発の一時停止を求め、AI のリスク抑制を呼びかける公開書簡が話題を呼びました。幸い、皆さんには社会人になるまで 4 年間の時間があります。差し迫る変化に備え、大学生活で人間的な交流力を磨き、社会の動向を注視しておいていただきたいと願っています。

一方で、AI が既にもたらしているポジティブな影響も見逃せません。たとえば、ゼミ生の研究レベルが近年大きく向上しています。経済データの分析には統計手法とプログラミングが求められますが、ChatGPT 等を支援ツールとして活用することで、これまで学部生には難しかった分析が可能になっています。また、自動翻訳ツールの精度向上により、外国語文献からの情報取得が劇的に容易になっています。新入生の皆さんにも AI を道具として使いこなし、高レベルの学習や独自の研究に取り組んでいただきたいと思います。

・・・ここまで、昨年度の「入門のしおり」の私のエッセイからの抜粋です。この 1 年で、生成 AI の限界が認識されつつあることや、社会には現状維持の力も働いていることから、大規模な雇用減を伴う急激な変革は数年内には起きないだろうという楽観論も一部で広がっています。しかしながら、高度な論理思考能力を持つ次世代 AI の登場が現実のものとなれば、状況が大きく変わる可能性があります。そのため、楽観論に流されることなく、引き続き注視していく姿勢が求められるでしょう。

大学で経済を学ぶみなさんへのメッセージ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

これからみなさんは、4年間、甲南大学経済学部で経済を学ぶことになりますが、そもそも経済を学ぶとはどういうことなのでしょうか。

現代においては、家計（個人）が企業（会社）に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生きています。しかし、残念なことに、この状況がうまく続いていくとは限らず、さまざまな問題が発生します。そこで政府（国や地方自治体）が登場し、問題を解決しようとします（この政府の活動を財政といいます）。このように、経済とは、私たち人間（ヒト）が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係から導かれるヒト・モノ・カネの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活そのものであるといえるのです。

したがって、「経済を学ぶ」とは、私たち人間の生活を「しっかりと見る、確認する」作業であり、それは私たち自身の「生き方を考える」ことにつながってくるのです。そこでは、高校までの勉強のように、正解とされていることをただ暗記するだけではなく、自身が置かれている現在の状況と進もうとする将来の目標に即して、正解とされていることが本当に正しいのか、自身にとって何が正解であるのかを、自分の頭で考え抜いていくことが非常に重要となるのです。

そのためには、経済について「体系的、専門的に勉強する」ことが必要になります。しかし、その機会を大学以外の場で得ることは難しいでしょう。思う存分しっかりと勉強ができるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

今まさに大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、これから有意義な4年間で過ごせることを心から願っています。

お金なるもの

岡田元浩

4年間にわたる経済学部生としての学びを通じて、みなさんにまず知ってもらいたいことは、世の中や私たち自身の生活においてお金というものがもつ重みです。私の知人のひとりには、「経済学部は金儲けの仕方を学ぶところ。経済学部に入っても金儲けの仕方を学べないようなら、意味が無い」と言いました。みなさんが大学での授業を受ければ、経済学部や経済学の実態がこうした見方とかけ離れていることが、ほどなく分かるでしょう。しかし、私の知人の上記のような考えは、案外世間の多くの人々が抱いているものではないかと思われれます。それはまた、お金というものがこの世の中でいかに絶大な威力を有しているかの現れであるともいえます。もちろんみなさんも、これまでの人生の中で、お金のもつ重みに気づいてきたことでしょう。そしてこれからは、経済学を通じ、改めてこの重たさをより深く認識してほしいと思います。

経済学部での学びからは是非ともみなさんに知ってほしい、もうひとつのことは、お金にひれ伏さない品性の大切さです。私が尊敬して止まない、近代日本を代表する大作家である夏目漱石は、経済学者以上に鋭く、金力の乱用がもたらす破壊的作用を強調しました。「金銭というものは・・・人間の精神を買う手段に使用出来るのだから恐ろしいではありませんか」（「私の個人主義」より）と漱石は言いましたが、実際、お金次第で、家族関係や友情にさえも容易に亀裂が生じてしまい、果ては世界が闘争に満ちた場と化してしまうのです。お金がすべてでない、これは真理ですが、それを私たちの実生活において全うするのは、決して容易なことではありません。それほどお金の力は大きいのです。そしてこの魔性に圧倒されないためには、私たち自身の品性を磨き上げる不断の努力が必要です。甲南大学は「人物教育」を謳っていますが、この品性の涵養はその最たるものであると、私は考えます。

新入生みなさんへ

萩巢 嘉高

新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活、そしてそれ以降の生活を楽しむために、何をすればよいでしょうか。人それぞれ答えは違うと思いますが、ここでは私が個人的に重要視しているものを紹介したいなと思います。

1. 人とのつながりを大切にしよう

みなさんがこの甲南大学経済学部に入學してきた背景には、きっとみなさんそれぞれの理由があるのかなと思います。就職のために学位が欲しい、経済学を学んでみたい、部活動やサークル活動で活躍したい、ひとまず進学してこの先の進路をじっくり考えたいなど、おそらくもっといろいろ細かな理由も人それぞれあるかと思いますが。これらの背景は十人十色とはいえ、同じ門戸を叩いた者たち同士、ここで出会う人々とのつながりをぜひ大切にしましょう。世間は案外狭いものです。

2. 人よりちょっと得意な技能を手に入れよう

これは、どちらかといえば大学生活中よりも、社会人になってから大切になることです。ずば抜けて何かができる必要はありません。平均と比べて、自分は「これは人より得意だな」と思えることがあれば、素晴らしいです。別に1番にならなくてもいいです。なんでだろうと思う人は「リカードの比較優位」について調べてみてくださいね。ちなみに、私が個人的におススメする技能を3つほど挙げるとすれば、「プログラミングスキル」「文章作成能力」「粘り強さ」でしょうか。

3. 教養を手に入れよう

本を読むなり映画を見るなりするのはとても大切です。教養（あるいは知識）があれば、楽しめる物事がとても多くなります。ぜひいろいろなことを学んで、修めましょう。

「講義の単価」？

奥田 敬

ご入学おめでとうございます。

早速ですが、大学生活の始まりにあたって気に留めておいていただきたいクイズを一つ。

【設問】

大学における 1 コマ 90 分の講義の(学生にとっての)単価を算定せよ。
ただし、単純化のため、4 年間の学費総額は教科書代も含めて 400 万円とし、その間の機会費用（生活費やアルバイト収入など）は度外視する。

【解法 1】全く無駄なく、最小費用最大便益で卒業を目指す。

卒業所要単位数は 128 単位、1 単位につき $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期 15 週で 2 単位なので、 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約 4,200 円

【解法 2】折角だから(単位取得とは無関係に)聴講・質問しまくる。

1 週間 30 コマ、通年で $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約 1,100 円

【解法 3】4 年分の在籍料と割り切り、出席も留年も気にしない。

1 日あたりの在籍料は、 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)
90 分あたりに換算すると、 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約 170 円

実は、これは 1990 年に小生が本学に着任した直後に熱心な新入生から突き付けられた難問です。経済学部生なら一応【解法 1】が正解か？

でも、その時の質問者の本意は【解法 2】と見受けました。【解法 3】は（バブル期の名残めいて）時代遅れでしょう。

もっとエレガントな別解があればお知らせください。

新入生の皆さんへ

奥山 鈴香

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。きっと、これからの学生生活に期待や不安を持たれていることと思います。

みなさんは、これまでの受験勉強を終え、大学入学後は4年間経済学を学んでいくことになります。では、高校における勉強と大学における勉強の違いはなんだと思われるでしょうか。さまざまな意見があるとは思いますが、私は、ゼミの先生からその違いは「論理的に考えること」だと教わりました。高校までの勉強は、物事を覚える、知識を得るのが大きな目的なのではなかったでしょうか。一方で、大学での勉強は、事例やデータという根拠から論理的に考えて自分の意見を持てるようになることも求められます。ぜひ、論理的に考える力を養ってください。

さて、大学生には、自由な時間がたくさんあります。もちろん、単位をとって卒業するのは大事ですが、それだけではなんとももったいないです。先入観を持たずに様々なことに興味をもって、新しいことにどんどん挑戦してほしいと思います。例えば、旅をするのもよいでしょう。10年後、20年後、どんな学生生活を送っていたら後悔がないでしょうか。じっくり考えてみてください。大学生のうちにしかできないことに挑戦しましょう。

つらいことや大変こともあるかもしれませんが、4年間の学生生活を楽しまれることを願っています。

敵対的企業買収について

小佐野 広

最近の日本の新聞やテレビの経済関係のニュースをみていると、時おり、敵対的企業買収（ある企業の経営権をその企業の経営陣の了解なく買い取ってしまう事、もっとひらたく言えば、ある企業を乗っ取って既存の経営陣を交代刷新すること）という言葉を目にします。しかも、敵対的企業買収が成功したというニュースも目にします。実は、これは数年前以前の日本企業では、考えられなかったことなのです。

欧米では、敵対的企業買収というのはその頻度に浮き沈みはありますが、必ずしもまれなことではありません。企業の株価がその企業の本来の価値よりもかなり低い時には、よく起こることです。とくに、買収される側の企業が本来の価値を達成して株価が高くなることは経済にとっていいことなので、敵対的企業買収は経済の効率性を達成するための重要な手段と考えられます。

これに対して、戦後の日本では、メインバンク制・株式持ち合いのような日本的な金融システムと終身雇用制・企業別労働組合のような日本的な労働システムが補完しあって和をもって貴しとする企業文化が支配し、敵対的企業買収という現象は皆無とっていい状態でした（ただし、1995 年にドイツ製薬大手ベーリンガーインゲルハイムがエスエス製薬に敵対的企業買収を仕掛けて成功した例はあります）。しかし、1990 年のバブル崩壊後、不良債権の増加とともに日本的なシステムが変容していくに伴い、とくに 2006 年になって製紙業界トップの王子製紙が当時業界 6 位だった北越製紙に対して敵対的企業買収を仕掛けました。もっとも、この王子製紙の試みは結局失敗しました。その後、敵対的企業買収を仕掛ける企業はありませんでした。ところが、2019 年になって、伊藤忠商事 vs デサント、エイチ・アイ・エス vs ユニゾホールディングス、コクヨ vs ペンてる（最初に名前のある企業が敵対手企業買収を仕掛けている企業）等といった有名企業が敵対的企業買収を仕掛ける例が相次ぎました。とくに、伊藤忠商事の場合は敵対的企業買収に成功したという点で、これまでの日本のコーポレート・ガバナンスとは明らかに違った状況が生まれているようです。

経済学部に入學した皆さんへ

鑑谷宏一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからどのような大学生活が待ち受けているのか、期待に胸を膨らませていることだと思います。

さて、経済学部に入學した皆さんは、大学生活においてどんなことを学ぼうとしていますか？もしかすると、大学では経済学の△△を勉強して、卒業したら〇〇という仕事に就きたいというキャリア・デザインをすでに持っている方もいるかもしれません。それはそれでとても良いことでだと思いますし、目標に向かって励んでほしいと思います。ただ、これから何を学ぶかについては、もう少し気を楽しんでも良いかもしれません。

そもそも、皆さんは、経済学がどのような学問なのか、経済学にはどのような分野があるのか、ということをよく分かっていませんよね。他の学問についても同様だと思います。また、世の中にはどのような仕事があって、そこでどんなことが求められるのかということも詳しくは知りませんよね。さらに、誰にも分からないことですが、これから社会がどのように変化し、どんな仕事が無くなったり生まれたりするのかというようなことも分かりませんよね。そのような状況においては、「面白そうだから」、もしくは「何だか気になるから」といった理由で何かを積極的に学んでみようとする 것도大切ではないかと思います。もちろん、学問以外においても自分のアンテナに引っかかるものごとを積極的にやってみることも大切だと思います。

大学の4年間という時間は、自由が利く時間です。このような時間は社会に出てからはまず手にすることはできません。ただ、大学の4年間は長いようで、あっという間に過ぎてしまいます。皆さんには、この貴重な時間を使って、様々なことに挑戦してほしいと思います。そして、卒業するときに、その時の自分と入學したての現在の自分を比べてみてください。どんな風に変化しているのでしょうか？もしかすると、卒業する時には、現在想像できる自分ではない自分になっているかもしれません。

皆さんが充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学生になる皆さんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。大学生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢に一步步近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起きていることに関心を持って下さい。2024年から今年にかけて日本で首相が交代し、米国でもトランプ政権が誕生しました。国際的な不透明感がある中で、日本の新政権は少数与党の状況で経済政策を議論しています。どのような経済政策を行えば日本がより幸せな社会になることができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本社会はより良い状況になっているのでしょうか。トランプ政権が日本に厳しい要求を突き付けてきたときにどう対応していけばいいのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から一步步学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代社会の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を2年生以降のゼミなどの科目で行うことになります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの4年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって、ぜひ頑張ってください。

2025 年度に大学生になる新入生へのメッセージ

小山直樹

経済学という学問は、

理論 (theory)、政策 (policy)、歴史 (history)

の三本柱から成り立っています。私が担当する統計入門は、選択必修科目です。統計学は、経済学において経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが「経済現象を理解する」基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権を持っていることをお忘れなく。つまり、学生みなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、

『自分にとって経済学を学ぶ意義』を随時確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャンパスライフを十分に楽しんでください。

〈大学生のうちにすべきことは、何ですか？〉

てら お たける
寺尾 建

大学生になると、高校のときまでのような「クラス」はなくなり、「担任」の先生もなくなります。人によって「時間割」が異なることも普通になりますし、一目瞭然であることでいえば、「制服」はありません。このようなことから、みなさんのなかには、「生き方の正解が、突然なくなってしまった」と感じている人も少なくないかもしれません。

しかし、人生全体の観点から考えてみると、「他の人と同じである」と言えることが多かったこれまでの時期の方が、むしろ特殊だったわけです。大学を卒業した後は、「友人と同じ会社に就職する」ということはまずありませんし、さらに言えば、各人の人生が、その終え方と終える時期も含めて、それぞれ別々のものになることが明白になります。というよりもむしろ、誰しもが、生まれたときから最期の時まで別々の人として別々の人生を歩むのであり、同じ人として同じ人生を歩む人は、二人といません。

以上のことをふまえるならば、このたび大学生になったみなさんには、「大学生のうちにすべきことは、〇〇である」といった類の物言いに囚われることなく、大学生活を自由に過ごしてほしいと強く思います。

知識や経験が乏しいなかで考えた「将来の役に立つこと」は、まず役には立ちません。知識や経験が乏しいとき、「将来」とは現在の延長線上を想像しているにすぎず、また、「役に立つ」と判断できるとしても、その際に用いている基準自体が適切ではない可能性が大きいからです。

「将来の役に立つか否か」なんてことは後回しでよいので、大学生活では、自分がとことん好きになって溺れてしまうものを見つけることを最優先にしてください。そのことこそが、将来、あなたを助けてくれるはずです。

自分で選んだ、他の人と違う人生は、それなりにしんどいところもあります。自分で選んだ以上、他の誰のせいにもできないからです。しかし、他の誰かのせいでできる人生は、そもそも自分の人生ではないはずです。

大学生活では、自分が自分であることを、何よりも大切にしてください。

大学で何を学ぶべきか

中川真太郎

米国のアップル社を創業したスティーブ・ジョブズは、かつて、スタンフォード大学の卒業式でスピーチをしたことがあった。今では、非常に有名になったこのスピーチで彼は3つの話をした。その中で彼が最初に話したのが、大学時代のことだった。

彼は米国オレゴン州にあるリード大学に進学したが、入学後半年で大学を中退してしまった。中退後しばらくは、友人の部屋に居候して、興味のある授業だけを聴講していたらしい。

当時受けた授業の1つにカリグラフィーの授業があったという。カリグラフィーとは西洋の書道である。日本の書道でも楷書、行書、草書など様々な書体があるように、西洋にも様々な書体がある。彼は、カリグラフィーの授業で美しい書体はなぜ美しいのかを学んだという。

当時、その勉強が何かの役に立つとは思わなかったそうだ。しかし、約10年後、彼がアップルコンピュータ社（現在のアップル社）で、マッキントッシュの開発に携わったときに、カリグラフィーの知識がよみがえって、美しい書体をいくつも利用できるように設計したのだという。その結果、コンピュータ上で印刷物の版下を制作するデスクトップパブリッシングが生み出され、出版の世界に革命的な変化が生じることになった。これを彼は、点（dot）と点がつながったと表現した。カリグラフィーという点とコンピュータという点が、つながったということだ。

私自身の大学卒業後の人生を振り返ってみても、大学で学んだことが、全く予期せぬ形で役に立ったことは幾度もあったし、今後もそういうことがあると思う。大学で学ぶことは、今すぐ役立つとは限らないし、生涯役に立たないかもしれないこともある。だが、年を取ってから深く理解できることも多い。

新入生の皆さん。大学では単に卒業のために合格点を取る勉強をするだけでなく、それを超えて、自らの知的好奇心や情熱に応じて、様々なことを勉強してください。いつか、点と点がつながることでしょう。

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

さて、皆さんは今、激動の時代を生きているという実感をどれ程お持ちでしょうか。2023 年を境に、世界は一つバージョンアップを果たしました。具体的には、ChatGPT に代表される生成 AI（人工知能）が登場し、これまで人間の行ってきた作業を代替するようになったのです。

このように、新しい技術が登場し普及すると、それに合わせて私たちの考え方も変わっていかざるを得ません。これまで是とされてきた「時間を正確に守る」、「多くの知識を身につける」、「的確に指示をこなす」といったことは、まさに AI の得意分野であり、そう遠くないうちに、人間がやる必要性はなくなっていくでしょう。

ではそのような社会において、私たちはどのように生きていけば良いのでしょうか。人間にしかできないことは何か、それは「効率の悪い（一見、無駄と思える）ことを楽しむ」ことだと思います。

大学で送るリアルな生活を想像してみてください。時間割を組む、学内で友人を作る、クラブ・サークル活動を選ぶ、朝早く起きて授業に出席する、所属するゼミを選ぶ、レポート課題をこなす、定期試験を受ける、恋愛する、留学する、趣味に没頭する、就職活動を行う等々・・・、どれもこれも、時間や労力（＝コスト）がかかるものばかりですね。実にタイムパフォーマンスが悪い。

だが、それがいい！

どれだけ張り合おうとも、AIの得意分野で人間はAIに勝てません。ならいっそ、時間のかかる作業はAIに任せ、浮いた時間を何にどう使うかを在学中に考えてみませんか？それこそが究極の経済学なのでから、といった四方山話を、皆さんと大学でできるのを楽しみにしています。

「将来のために」を意識しようー人生 100 年時代の社会人基礎力ー

林 亮輔

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で送る 4 年間は、皆さんにとって（おそらく）人生最後の学生生活となります。サークル活動、部活動、アルバイト、留学など、比較的自由度の高い大学での時間をどのように活用するか、様々な夢を膨らませていることでしょう。大学での 4 年間は、皆さんが考えている以上にあっという間に過ぎていきますので、少しでも気になることがあればチャレンジすることを恐れず、大学生生活を充実したものにしてほしいと思います。

入学直後の皆さんにとっては気の早い話かもしれませんが、学生時代を助走期間に例えるなら、4 年後、皆さんは自分自身の力で社会に飛び立たなければなりません。社会では学生時代に培った様々な能力が試されますが、学生時代にどのような能力を身につける必要があるのでしょうか？

2018 年、経済産業省は、社会や組織で活躍し続けるために必要とされる基礎的な力として「人生 100 年時代の社会人基礎力」を提唱しました。社会人基礎力は「一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力」、「疑問を持ち、考え抜く力」、「多様な人々とともに、目標に向けて協力する力」という 3 つの能力によって構成されており、この社会人基礎力を身につけることが学生である皆さんには求められているのです。

大学は専門性の高い知識を学ぶ場であるとともに、それらの知識を得るプロセスを通じて社会人基礎力を高められる工夫が散りばめられています。しかしながら、大学に在籍しさえすればこれらの能力を高められるわけではありません。腕や足の筋力をつけるにはトレーニングが必要なように、脳の力を高める際にもまたトレーニングが必要なのです。

したがって、皆さんには学業にも積極的に取り組んで欲しいと思います。サークル活動やアルバイトを通じて高められる能力と学業を通じて高められる能力は異なることから、「将来のためにどの能力を高めなければならないか」を常に自問自答し、大学を卒業する際には確かな成長が感じられるよう、充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学と保育園

平井健介

私はここ数年、一年生の必修科目『経済入門Ⅱ』において、船曳建夫「大学で学ぶということ」（小林康夫・船曳建夫編『新・知の技法』）という文章を紹介してきました。「大学で学ぶ」ことが「学校で教わる」とことと何が違うのかを解説した文章です。ただ、私は今年度、皆さんに会える機会がないので、ここで内容のほんの一部を少し紹介します。

船曳は大学の使い方について、次のように説明しています。

大学は、学校に入る前の保育所に似ています。教え込まれるような勉強はなく、粘土細工や砂遊び、絵本を読むことなど、自分でしたい「お遊戯」をすることになっていて、保母さんはあまり口出しをしない、という。大学では基礎的な勉強は押さえておかなければなりませんが、この保育所にも似た行動の自由度と環境を充分に生かせば、就職準備でもなく、休暇でもなく、大学にふさわしい学びと遊びをすることが出来るのです。

大学が高校よりも難しいことを教わる場だというのは、少し正しく、大いに間違っています。あなたがしなければならないことは、四年という長く短い期間の中で、経済についての自分なりのお遊戯（したいこと）を一生懸命することなのです。授業やゼミはどのようなお遊戯があるのか、いまあなたがしているお遊戯をもっと面白くするにはどうすれば良いかを見つける場に過ぎません。極端に言えば、お遊戯をしていれば授業に出席しなくてもその人は学生であり、お遊戯をしていなければどれだけ良い成績を取ってもその人は学生ではない（生徒である）、ということです。

また、園児のような友達付き合いをしてください。保育園に子供を迎えに行った時のことです。子供たちを眺めていると、急に違う遊びを始める子がいることに気づきました（たとえばみんなでトランプをしていたのに、急に一人でブロック遊びをする）。人に尋ねたところ、「それは一緒に遊んでいるのではなくて、たまたま同じ遊びをしているだけだよ。」と教わりました。皆さんも個人を基盤としない「世間」的な友達付き合いではなく、個人を基盤とする「社会」的な友達付き合いをして下さい。

「入学おめでとう」と言いたいところですが、それはあなたが学生であったかが明らかとなる卒業の時に、「卒業おめでとう」と共に言いますね。

新入生の皆さんへ

宮尾 龍蔵

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活は、皆さんにとって非常に大きな意味を持つものになることでしょう。新しい環境で、学問に向き合うことはもちろん、さまざまな人と出会い、貴重な経験を重ねていくことになります。

経済学部での学びは、単なる知識の習得にとどまらず、物事の考え方や視点を広げることに大きな意味があります。経済学の学びは実社会にも直結しているため、普段の生活やニュースの理解にも大いに役立ちます。経済政策や市場の動きがどのように人々の生活に影響を与えるのか、様々な社会問題の背景に何があるのかなど、広い視野で物事を捉え、俯瞰して考える力をぜひ養ってください。

大学では、高校までとは違って、自分で時間を管理し、学びを深めていかなければなりません。大学では自分のペースで進める部分が多いため、自由でありながらも自己管理能力が試されます。計画的に勉強を進めることはもちろん、仲間との意見交換や先生方への質問なども積極的に行って、主体的な学びをぜひ深めていってほしいと思います。

大学生活は、学びだけではなく、人生の中での貴重な経験の場でもあります。クラブ活動やサークル、アルバイト、ボランティア活動や旅行など、さまざまな機会を活用して、自分を成長させていってください。学外の活動や経験を通じて異なる考え方に触れ、自分の視野を広げることができるのも大学ならではの醍醐味です。

これからの4年間、多くの仲間や先輩・後輩、先生方と出会われるかと思っています。「人との出会い」は、大学生活の中で最も価値あることの一つであり、大切な宝物となるでしょう。

皆さんの前には大きな可能性が広がっています。多くの良き出会いに恵まれ、充実した日々を送られますよう、皆さんの学びと成長を心より応援しています。

「ゼミでの研究」のすすめ

宮川 敏治

新入生みなさん、入学おめでとうございます。まずは、あまり堅苦しく考えず、4年間、何でも良いので「一生懸命になれるもの」を見つけてください。その「一生懸命になれるもの」はこの先、必ずみなさんの人生を助けてくれます。

この（大学時代に）「一生懸命になれるもの」として、少人数の「ゼミ」での「研究」をおすすめしたいと思います。例えば、私のゼミでは、5人程度のグループで、それぞれに研究テーマを決めて、1年近くをかけてそのテーマを研究しています。具体的には、独自の仮説を立て、アンケートや実験を通じてデータを収集し、その研究成果をプレゼン大会で研究成果を発表する、という手順で行われます。

このグループ研究を通じて、

1. みんなで一つの目標に向かって頑張る楽しさを知る
2. 互いの意見を尊重しながら、議論するやり方を知る
3. 自分たちにしかできない研究成果を上げることで学問の楽しさを知る
4. データを科学的（統計的）手法で分析できるようになる
5. 視覚にうったえる資料（パワーポイント）を作成できるようになる
6. 人前で堂々とプレゼンテーションができるようになる

といった（就職活動だけでなく）実際に社会にでてからも役に立つ「技術」や「技能」を身につけることができます。大学時代に全力を傾けてやってみる価値は十分にあります。

「一生懸命になれるもの」は、勉強以外のものでも良いのですが、大学教員が経済学の専門家として、特にお手伝いできるのは「ゼミでの研究」です。「ゼミでの研究」は、高校までの受験勉強では得られない大学ならではの勉強の醍醐味（いわゆる学問することの醍醐味）を味わせてくれること間違いなしです。

良かったら自分が興味を持った研究ができる先生の研究室のドアをノックしてみてください。

新入生の皆さんへのアドバイス

宮本 舞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。僭越ながら、皆さんへ大学生活を送る上での3つのアドバイスをお伝えしたいと思います。

(1) 高校までと大学での学びには大きな違いがある。

高校までの勉強では、テストや入試でよい点数をとることが大きな目的の1つであったかもしれませんが、しかし、大学では学ぶ「力」を身につけることが重要です。例えば、自分で問題を発見する「観察力」や、その問題を解決するための「考察力」や「行動力」。これらの力を身につけるためには、時には答えのない問題に直面する場合があります。この違いに最初は苦戦するかもしれませんが、その違いを楽しんでください。

(2) 社会人には時間がない。

私自身も働き出して痛感しましたが、皆さんの想像より働き始めると自分の自由になる時間が少なくなります。ぜひ国内外へ旅行に行ったり、留学にチャレンジしたり、貴重なこの4年間で実り多いものにしてください。また、すぐに身近でできることでは本をたくさん読むことをお勧めします。国内外、新旧様々な本を読むことはきっと今後の財産になると思います。

(3) いろんな人との交流を。

大学には、学生も教員もいろんな人がいます。また、行動範囲が広がることによって、学外で出会う人の幅も広がることでしょう。お手本にしたい人が見つければ、その人から多くのよい面を吸収してください。「人のふり見て我がふり直せ」とも言いますが、よくない手本が見つかったならばそこから学ぶことはあるかもしれません。また、いろんなタイプの人との交流の仕方も学んでください。

皆さんの学生生活が充実したものになることを心から願っています。また、皆さんの学生生活がより良いものになるように微力ながらサポートできれば幸いです。

個のレベルアップを目指そう！

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

甲南学園を創立した平生鉢三郎は、旧制甲南高校の校長を務めていた頃、折に触れ「健全な常識を持った世界に通用する紳士たれ」と訓示し、「世界に通用する紳士・淑女たれ」は甲南学園の建学の精神を表す言葉となりました（LGBTに配慮するなら「世界に通用する人物たれ」と言うべきかもしれません）。

それでは世界に通用する人物になるためにはどうしたらよいのでしょうか？

2014年のFIFAワールドカップの頃、「日本のサッカーが世界に通用するためにはどうしたらよいか？」との質問に対し、当時の日本代表の選手たちは口を揃えて「個のレベルアップです」と答え、多くの選手が海外のチームに移籍しました。同じように、世界に通用する人物になるためには個のレベルアップが必須だと思います（もちろん海外生活を経験して世界を知ることもお勧めです）。

甲南学園の建学の精神は「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」というものですが、「個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」は「個のレベルアップ」と解釈できます。また甲南大学の「彩り教育」（＝自分の目的に応じて選択できる、甲南大学ならではの彩り豊かな教育プログラム）は、どのような方向であれ、皆さんの個のレベルアップに役立つはずで、例えばデータ分析のスキルアップを目指すなら、私もお役に立てると思います。

皆さんが甲南大学で個のレベルアップを目指し、世界に通用する人物に成長されることを期待しています。

経済学部生へ

森 剛志

人間万事塞翁（さいおう）が馬

この言葉は、悪いことがあれば良いこともあることを意味したものです。「ある男の飼っていた馬が逃げてしまいます。みんなが同情しましたが、その後、逃げた馬は立派な馬を連れて帰ってきた。」という故事から来ています。若い時はほんの少しの悪いことでも「自分は世界で一番不幸だ」と思って悩んだりすることもあるでしょう。でも、それは素晴らしいことの前兆かもしれません。

ある大学生の話です。その大学生は、現役時代に入学したかった大学に不合格だったので、浪人してもう一度受験しました。今度こそは合格するだろうと、その大学の近くに下宿先も決めていました。でも、合格発表の日、自分の受験番号は合格者リストの中にはありませんでした。

第2志望の大学には合格していたので、泣く泣く4年間第2志望だった大学に通うことにしました。下宿先はすでに決めていたので、1時間もかけて通いました。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。泣く泣く通うはずでしたが、その大学で自分の親友をつくり、尊敬していた大学教授とは今でも親交があるくらい充実した学生時代を送りました。

就職の時、やはり自分がもともと第一志望だった大学の学生たちに会い、その学閥の強さに圧倒されて、地元に戻って就職することにします。

もともと学問が好きだったので、就職先の近くに京都大学があり、その大学の大学院に入学することにしました。これが私の青春期です。

いまから、あなたの物語が始まります。決して平たんでないかもしれませんが、すべてはあなたが作る自分の物語です。数十年たった時、誰かに聞かせてあげてほしいです。あなたの物語を。別に、何も特別なものでなくてもいいのです。あなただけの物語ですから。今からが始まりです。

大学での「答えがない」学びとは何か？

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活にワクワクしたり、逆に不安になったりしている人も多いことと思います。

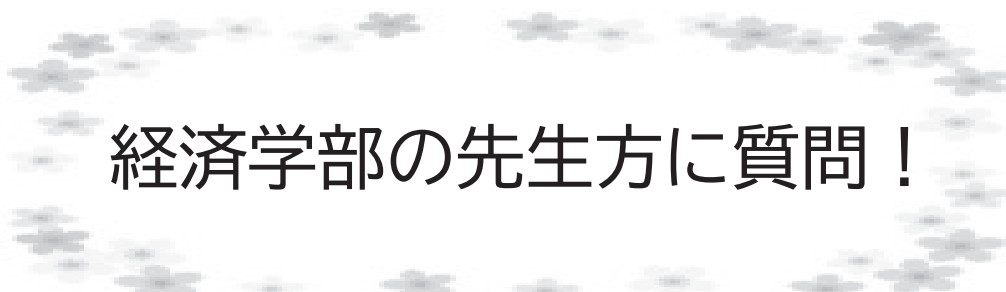
さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？「大学での学びには答えがない」と聞いたことがある人もいるかもしれません。「答えがない」とはどういうことなのか？高校までは、教科書の内容が「正解」でした。それは、専門家が十分に検討して、間違いない内容が教科書には書かれているからです。逆に、大学では今現在課題となっていることを学びます。課題への解決策はだれにも分からないので、「答えがない」のです。

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・子供の数を増やして、少子化をとめるためにはどうするべきか？

どれも日本の将来を左右する大きな課題ですが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に着け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずです。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。



経済学部の先生方に質問！

足立 泰美先生	30	寺尾 建先生	54
石川 路子先生	32	中川 真太郎先生	56
石田 功先生	34	林 健太先生	58
永廣 顕先生	36	林 亮輔先生	60
岡田 元浩先生	38	平井 健介先生	62
荻巣 嘉高先生	40	宮尾 龍蔵先生	64
奥田 敬先生	42	宮川 敏治先生	66
奥山 鈴香先生	44	宮本 舞先生	68
小佐野 広先生	46	村澤 康友先生	70
鎰谷 宏一先生	48	森 剛志先生	72
高 龍秀先生	50	森本 裕先生	74
小山 直樹先生	52		



足立 泰美（あだち よしみ）

大阪大学大学院国際公共政策研究科

修士「国際公共政策」取得

大阪大学大学院医学系研究科

博士「医学」取得

大阪大学大学院国際公共政策研究科

博士「国際公共政策」取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政学です。なかでも，地方財政および社会保障財政が専門です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

財政の視点から，安定した財源の確保と適切な給付をテーマに，行政・家計・企業の個票データを用いて，実証的に検証しています。具体的には財源については，税・社会保障負担から近年は公債のあり方について幅広く検証しています。給付は，以前は社会保障に特化していましたが，働き方が多様化する変化を踏まえ雇用支援政策と企業・公的年金，さらには資産運用の関係を分析しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

楽しい講義には無駄話がつきものです。酒井康弘著作の「はじめての経済学」は，良い意味での無駄話が満載の本です。それでいて経済学の基本的な概念もおさえられている，バランスのとれたおすすめの本です。

4. 経済学の魅力を教えてください。

日常の当たり前の事象を当たり前にしないというのが経済学の魅力です。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

色々な方との出会いですね。繰り返される出会いが、次のチャンスに繋が
り、今の仕事に繋がっています。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのよ
うなことを学んでもらいたいですか？

出会いと挑戦ですね。自分も仲間もキャップをはめることなく、色々なこ
とと一緒に果敢に取り組み、その先には何を成し遂げられるのかを見極め
つつ、コツコツ努力してほしいですね。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

研究室からの神戸の眺望

8. 新入生に一言お願いします。

トコトン遊んで、思いっきり勉強してください。そこから失敗と成功を繰
り返しながら、自分の限界を感じつつ、自身の得手と不得手を、身をもっ
て知ることができます。この「知る」ことの積み重ね、それが自分につい
ての知識になります。ゆくゆくは将来への道が見えてくるきっかけになり
ます。



石川 路子（いしかわ のりこ）

神戸大学工学部卒業

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期
課程修了

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士
後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現在の私のテーマは生活の質（Quality of Life）の地域格差の分析です。人々の生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因によって生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を検討しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

「本を一冊読んだことがない」という学生さんも増えていると聞きますが…どんな本でもいいので一冊読破してみしてほしいと思います。最近では映画化や漫画化している小説も多数ありますが、原作を読むことで想像力が働き、自身の考え方や知識を豊かにしてくれると思います。

4. 経済学の魅力を教えてください。

経済学は「守備範囲が広い」ことが魅力でしょうか。経済学を学ぶ度に「こんなことにも経済学が使える！」と驚くことも多いです。経済学を難しそうな学問として捉えるのではなく、「日常生活に役立つ」学

問としてぜひ楽しんでもらえればと思います。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

学部の「建築設計」の授業ですね。私は工学部に所属し、建築を学んでいましたが、その中でも大変だった授業の一つが、建物の図面（+模型）を仕上げる授業でした。建物の条件等が提示されてから3週間程度で完成させないといけないので、授業時間外もずっと建物のことばかりを考えているようなストレスの大きい授業でしたが、わからないことをクラスの仲間で共有したりととても充実したものでした。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

「自律性」を持ってもらうことを大切にしています。社会に出ると、指示を待つのではなく自ら率先して動くことのできる人材が求められます。ゼミでは、自分自身で自分の道を切り拓くことのできる強さを身につけてほしいと思っています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

居心地のいいのは自分の研究室ですが（笑）、iCommonsを含め、甲南大学の屋内外ではのんびりと時間を過ごせる場所が多い気がします。みんなでワイワイするのも楽しいと思いますが、一人でのんびり読書をしたり考え事をする時間をぜひ構内で楽しんでもらえればと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

これから始まる4年間は皆さんの将来にとってもかけがえのないものになると思います。あっという間に終わってしまうこの時間がぜひ有意義なものになるよう、さまざまなことにチャレンジしてもらえればと思っています！



石田 功 (いしだ いさお)

甲南大学経営学部卒業

ワシントン大学 (シアトル) M.B.A.

カリフォルニア大学サンディエゴ校

Ph.D. (経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

計量ファイナンスと金融市場の実証分析です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

株価や為替レートが明日上昇するのか下落するのかを予測することは難しいですが、市場価格変動の激しさ（これをボラティリティと呼びます）は過去データの統計分析からかなりの精度で予測できます。金融資産運用のリスク管理において重要なこのボラティリティ計測・予測の精度向上が主な研究テーマです。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

デイヴィッド・チャーマーズ著『リアリティ+：バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦』は、仮想現実を切口に、現実世界とは何か、人間の意識とは何か、人が生きる意義とは何かといった問いを通じて、私たちが生きるデジタル社会の未来について深く考えるきっかけを与えてくれます。哲学の知識がない読者にも理解しやすい内容でおすすめです。社会変化が急激になる中で、AIや仮想現実といったテクノロジーが私たちの生活や価値観に与える影響を考える際、ものごとの本質を問う哲学的視点がますます重要になっていると感じます。

4. 経済学の魅力を教えてください。

緻密な論理の積み上げや現実データに基づく実証分析を通じて、常識として考えられていることの間違いを明らかにし、新しい視点や政策提言を生み出せるのが経済学の醍醐味です。その知的刺激に加えて、例えば、経済の長期停滞や貧困といった実社会の問題に対して、改善・解決のための具体的な提言を行える点には、経済学の実践的な価値があります。また、物理学・工学・確率論・心理学・進化生物学といった多様な分野の分析道具を柔軟に取り入れながらも、寄せ集めではない一貫したプリンシプルが根底にある点も大きな魅力です。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

小さな思い出はたくさんありますが、具体的にどれかひとつ1番をあげるのは難しいです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

最近の学生の皆さんは、テーマを調べてスライドにまとめ、分かりやすく発表するのが本当に上手だと感心します。ゼミでは、その一歩先を目指し、データ分析や経済学のツールを使って、経済現象に関する自分だけの新しい発見をすることを大切にしています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所はありますか？

iCommons をおすすめしておきます。

8. 新入生に一言お願いします。

4年間、しっかり勉強して下さい。



永廣 顕（えひろ あきら）

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政金融論、財政金融史が専門分野です。特に、財政と金融の境界領域といえる公債管理や財政投融资を中心に歴史と現状について研究しています。また、社会保障（年金・医療保険など）についても研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。大蔵省（現財務省）や日本銀行（中央銀行）の政策意図について考察しながら、現代日本の財政・金融政策の特質は 1910 年代後半から戦時期を経て戦後の 1960 年代にかけて形成されたのではないかという問題意識を持ち、研究を続けています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

一冊目は、池上彰『わかりやすく<伝える>技術』（講談社現代新書、2009 年）。物事をわかりやすく説明する＝伝えるコツが書かれており、コミュニケーション能力の向上に繋がると 생각합니다。二冊目は、神野直彦『財政のしくみがわかる本』（岩波ジュニア新書、2007 年）。岩波ジュニア新書は高校生向けと言われているますが、財政についてしっかりと勉強したい人にとっては最適の入門書です。

4. 経済学の魅力を教えてください。

ヒトの動き、モノの動き、カネの動きを分析し、それらを体系化することで、世の中全体を見る目が養われるところです。経済学を学んできたことにより、世の中全体の動きを幅広く見たり考えたりすることができるようになったと感じています。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

1番をあげるのは難しいですが、大学在学中はオリエンテーリングクラブの活動が生活の中心で、週末になると各地の野山に出かけて駆け巡っていました。クラブで大会を開催したり、有志でチームを組んで駅伝大会に出場したり、学園祭でクラブの仲間と大学に泊まり込んで準備・運営した思い出があります。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

学生同士、学生と教員と一緒に学び、お互いの信頼関係の下で楽しく活動することを大切にしています。常に「ゼミ」に関心を持ってゼミ活動に積極的に参加し、「大学」で「研究」することの「楽しさ」と「難しさ」を経験してもらいたいと思っています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

iCommonsの2階にあるFitness Room（トレーニングルーム）をオススメします。以前はグラウンド横のクラブ・サークルの部室の一角にあり、「秘密トレーニング」と称して利用していました。トレーナーの方にプログラムを組んでいただいて、半年で10キロ以上の減量に成功しました！

8. 新入生に一言お願いします。

「総合大学」である「甲南大学」を4年間継続して徹底的に使いこなしてください！勉強に限らず、大学の中で自分にとっての興味や関心を見つけ、4年間それに精一杯打ち込みましょう！



岡田元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士後期課程
中退

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済学の歴史。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

19 世紀後期から 20 世紀前期に至る労働学説の批判的研究。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

夏目漱石「私の個人主義」（三好行雄 編 『漱石文明論』 岩波文庫、1986 年所収。）大学生のみなさんにぜひ読んでほしい、しかしその本意は後年にはじめて分かる、真の意味での人生の指南書です。

4. 経済学の魅力を教えてください。

私自身決して好きではありませんが、世の中や私たちの生活を考える上で一度は学んでおくべきものだと思います。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

読書三昧と多言語学習。その時は実用性など度外視していましたが、これが数十年を経た現在の私の研究を支えています。反面、社会活動、海外旅行、恋愛など、もっとアクティブに行動しておけばよかったと後悔しています。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

大学卒業後、十年、二十年以上を経て、ゼミでの学びの意義が真に理解できることを。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

図書館。試験勉強の時だけ利用するというのは余りにもったいない！大学でいかによく学んだかは図書館で過ごした時間に比例する、というのが私の持論です。

8. 新入生に一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ」(Mohandās Karamchand Gāndhī)



荻巢 嘉高（おぎす よしたか）

南山大学経済学部 卒業

神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程 修了

神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

マクロ経済学、労働経済学およびネットワーク科学を専門にしています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

人々の交友関係や、企業と銀行の取引関係などの、“つながり”が経済にもたらす影響を研究しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

いろいろありますが、数本記します。

経済の読み物として面白いものならば、次の書籍などは良いと思います。

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン（2016）「国家はなぜ

衰退するのか(上)・(下):権力・繁栄・貧困の起源」早川書房、鬼澤忍 訳

伊神満（2018）『イノベーターのジレンマ』の経済学的解明」日経 BP

また、レポートを含めた文章の書き方を身につけるには訓練が必要なので、例えば次の書籍をお勧めします。

結城浩（2013）「数学文章作法 基礎編」筑摩書房

経済の専門書でお勧めをあげるなら、次の書籍でしょう。（ただし、難しいです。4年間で読みきれば万々歳です。）

二神孝一、堀敬一（2017）「マクロ経済学 第2版」有斐閣

4. 経済学の魅力を教えてください。

さまざまな物事を見る目を養うことができるようになることでしょうか。経済学で学ぶ知識は現実には直接役立つことが少ないと思われがちかもしれませんが、経済学の提供しているツールセットは万物共通で通用するように感じています。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

実は、お師匠の先生方とのやりとりが一番楽しかったように思います。大学はいろんな先生がいますので、ぜひコミュニケーションをとってみてください。きっと面白い話が聞けますよ。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

よく言えば自律的に（悪く言えば勝手に）学ぶ環境を提供したいと思っています。ひとそれぞれ関心や興味、習熟度や知識量が異なることは当たり前なので、それぞれでゴールを定めて、それをクリアしていく、というプロセスを大切にしたいと思っています。このプロセスを繰り返していくことを学んでほしいと願っています。このようなことを言っている一方で、議論の基盤となる知識は絶対に必要だと思いますので、半年程度は輪読やプログラミングの演習に割いています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

PRONTO は好きですが、高いのであまり利用できません。たまに出没します。あと、iCommons の BOOKCAFE は使いやすいそうだなと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

大学生活では、何かチャレンジしたいことがあればチャレンジし、体力的・精神的に無理をしないようにし、適切に周りに頼ることを心がけましょう。



奥田 敬（おくだ たかし）

1958 年生

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の専門分野は何ですか？

一般的な分類では、「経済学史 History of Political Economy）」、
本来の面目としては、「ナポリ啓蒙 Illuminismo napoletano」、
担当科目となれば、「社会経済思想 Socio-Economic Thought」。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

18 世紀南イタリアにおける〈経済学〉の「初心」と「挽歌」、
もう少し具体的にいえば、アダム・スミスから始まる(とされている)
のとは違う〈経済学〉の可能性の探求。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

3 巻本の大著ですが、J.A.シュンペーター『経済分析の歴史』
（東畑精一・福岡正夫訳、岩波書店、2005-6 年【原著 1954 年】）。
一度は手に取って覗いてみてください。

4. 経済学の魅力を教えてください。

一言でいえば「高貴な実学」と申せましょうか。

5. 先生ご自身の大学在学中での 1 番の思い出は何ですか？

(大学院に入ってからですが) ナポリに 10 か月ほど留学したこと。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

大切なのは、多くの古典を深く読み解くこと。

そして「考えるヒント」として活用すること。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

図書館 3 階・4 階の書庫の中。

学期初めに開催される「書庫入庫ガイダンス」を受講すれば、

学部生でも入庫できます。

書物の森を探索してください。

8. 新入生に一言お願いします。

マルクス『資本論』序文の有名な結句：

Segui il tuo corso, e lascia dir le genti!

(汝の道をゆけ。人には言わせておけ。)

これは実はかなり捻りがきいています。

ダンテ『神曲』煉獄篇 5:13 の原文では、

前半は **Vien dietro a me** (吾に従え) です。



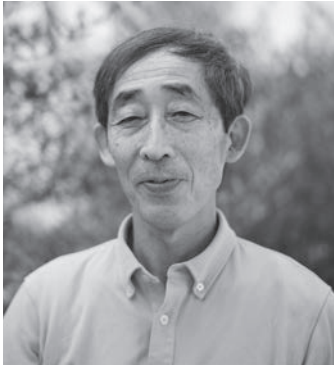
奥山 鈴香（おくやま すずか）

大阪大学大学院経済学研究科後期課程
修了

1. 先生の専門分野は何ですか？
産業組織論です。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
価格差別です。
3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。
神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社
4. 経済学の魅力を教えてください。
個人や企業のインセンティブを考察するところです。
5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？
ゼミで卒業研究に取り組んだことです。
6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？
卒業後も役に立つことをひとつでも学んでくれたらうれしいです。
7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

今年度から甲南大学で働き始めます。
皆さんのおすすめの場所を教えてください。

8. 新入生に一言お願いします。
とりあえず、楽しんでください！



小佐野 広 （おさの ひろし）

京都大学経済学部卒業

大阪大学大学院経済学研究科より博士取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報の経済学とコーポレート・ファイナンス

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

金融市場における情報収集活動と金融市場の効率性

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

自分の好みに合う本を読めばいいと思います。

4. 経済学の魅力を教えてください。

ときに普通の常識的な考え方と反対の結論が出てくるところです。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

大学のゼミの仲間と何回か旅行をしたことです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

自分で自発的に勉強してもらうことで、社会に出ても役立つでしょう。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

特にありません。

8. 新入生に一言お願いします。

大学の4年間は長いようで短いので、何かあとで残ることを一つでもやっておくべきです。



鎭谷 宏一(かぎたに こういち)

神戸大学大学院経済学研究科博士課程後
期課程国際経済専攻修了 博士(経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学（国際貿易論）です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

国際貿易に係る諸問題を政治経済学的な視点から理論モデルとデータを用いて分析しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

大学生の時に何度となく読み返した本の中から2冊を紹介します。
ここではないどこかを見つけてください。

- ・ 沢木耕太郎 『深夜特急 1～6』 新潮文庫
- ・ 司馬遼太郎 『竜馬がゆく 1～8』 文春文庫

4. 経済学の魅力を教えてください。

経済学というツールを用いて、自分の興味がある現実社会の様々な出来事について自由に分析ができることが経済学の魅力だと考えています。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか。

大学生生活では、お金はあまりなかったけれども、自由な時間がたくさんあったので、旅をしたり、山・川・海へとアウトドア・アクティビティをしに行ったりしました。これらが良い思い出となっています。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか。

ゼミを作っているのはゼミ生と考え、ゼミをしっかりバックアップしていくということを大切にしています。ゼミ生には、経済学を使った分析ができるようになるだけでなく、ゼミ生同士のつながりも大切にしてほしいと考えています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか。

自分の研究室からの眺めがお気に入りです。

8. 新入生に一言お願いします。

自由に使える時間がたくさんあることが、大学生の特権の一つではないかと思います。しかし、大学の4年間という時間は、長いようで実は短いです。自由な時間を有意義に使ってください。



高龍秀（こう・よんす）

1984 年に大阪府立大学を卒業し、1991 年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学とアジア経済です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

サムスン電子など韓国の企業を研究しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

田中宏『在日外国人』岩波新書、2013 年。

4. 経済学の魅力を教えてください。

複雑な社会の動きについて、論理的に、筋道をたてて説明することができる力が身につきます。

5. 先生ご自身の大学在学中での 1 番の思い出は何ですか？

韓国語や韓国の歴史を学ぶサークルで、多くの仲間と出会い、その後も長く親交が続く大切な友人ができたことです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

仲間とよく議論して、チームワークを築く経験を積み重ねてほしい。
なぜこうなったのかなど原因を深く掘り下げて考える力を身につけてほしい。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

5号館1階のパンセで、ゆっくりコーヒーを飲むと落ち着きます。

8. 新入生に一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。

世代を超えて、いろんな人と話することはとても大切です。

授業で先生の話をよく聞くこともその意味で重要です。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士
課程後期課程単位取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、計量経済学、統計学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

授業改善アンケートデータの統計分析です。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

J・R・R・トールキン著、指輪物語。アニメや映画も良いですが、どっぷりとディープファンタジーに浸るには原作（日本語訳）が一番です。

4. 経済学の魅力を教えてください。

社会の成り立ちを経済的側面から掘り下げるところ。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

ゼミ長を拝命し、同期のゼミメンバーと、分担調査・発表を連続3か月続けて、「小山、もうこんなしんどいの、無しにしてくれよ」と言われたこと。
(しかし、次の3か月もデスマーチは続くのであった)

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

チームを組んでの調査研究活動。分業と協業、そしてコミュニケーションスキルの上達。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

5号館5階のフロア西側窓から見る夕陽に染まるキャンパス。

8. 新入生に一言お願いします。

マイペースで行こう！



寺尾 建（てらお・たける）

1991 年 京都大学経済学部経済学科 卒業

1996 年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

——「マクロ経済学」です。「経済全体」を対象とするマクロ経済学は、ミクロ経済学と並んで、経済学全体の「土台」となっている分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

——上でも書いたように、専門分野はマクロ経済学なのですが、経済学を学び始めた頃から、経済学の成り立ちに強い関心があり、ここ数年は、「経済学は、なぜ数学的になったのか？」「経済学が数学的であることには、どのような意味や意義があるのか？」という問題について考え続けています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

——以下の本をお勧めします。

大澤聡『教養主義のリハビリテーション』（筑摩選書、2018 年）

この本を、入学した直後と卒業する直前の二度、読んでみてください。

4. 経済学の魅力を教えてください。

——この世界に存在するもののほとんどすべては「かぎりあるもの」ですので、この世界に存在するもののほとんどすべてについて、経済学で考えることができることです（ただし、このことは、経済学が「万能である」ということを意味するわけではありません）。

5. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

——「このような気持ちを抱かせる人が、結婚する相手であるに違いない」と思える人に、初めて出会ったことです（結果的に、その人とは結婚するには至りませんでした）。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

——大切にしていることは、「ようこそ」と迎え入れること、「ここがあなたのいるべきところだよ」と居場所を確保すること、そして、「また会おうね」と約束をすることの三つです。また、学んでほしいことは、「この世界には、自分という人間は、自分ただ一人しか存在しない」という事実がもつ意味と意義です。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

——冬の時期に、5 号館 5 階から見える夕陽は、とても綺麗ですよ。

8. 新入生に一言お願いします。

——新入生のみなさんに、以下の言葉を贈ります。

「大学とは、何か？」「何ものでもない (Nothing)」

「大学は、何を望む？」「すべてを (Everything)」

「大学には、何ができる？」「それなりのことが (Something)」

大学とは、何ものでもないがゆえにすべてを望むような存在であり、したがって、みなさんの人生（とみなさんが生きる社会）に対して、それなりのことができる存在です。



中川真太郎

(なかがわ しんたろう)

京都大学大学院 経済学研究科
博士後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

公共経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

公共財の研究です。公共財というのは、対価を払った人も払わない人も誰でも利用でき（非排除性）、また、ある人が利用しても、他の人もそれを同じように利用できる（非競合性）という2つの性質を持つ財を言います。「そんなものが現実にあるのだろうか」と思うかもしれません。しかし、たとえば、地球の自然環境がもたらす恩恵は、世界中誰もが利用できますし、また、ある人が利用したからと言って他の人が利用できるわけではありません。そのため、地球環境は公共財の1つです。この他にも様々な問題が公共財の性格を持っています。私は、この公共財の理論を用いて、地域の防災や国際社会の安全保障など、現実の様々な問題を分析する研究に取り組んでいます。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

角山栄・村岡健次・川北稔著『生活の世界歴史 10 産業革命と民衆』
河出書房新社、1992年、880円（Kindle版）。

産業革命によって一般の人たちの生活がどのように変わったのかが分かる本です。経済学部では資本主義や市場経済の働きを学びますが、特に資本主義という言葉はイメージしづらいと思います。この本を読む

ことで、資本主義が、お金持ちでも貴族でもない庶民の暮らしをどのように変えたのか、なぜ経済学が資本主義や市場経済を研究しているのかが理解できると思います。出版年が古く、紙の本は手に入れにくいですが、Kindle 版があります。

4. 経済学の魅力を教えてください。

学問の魅力という点で言えば、真理を明らかにする数学や自然科学の方が、魅力があると思います。経済学は、魅力があるというよりは、現代社会の色々な問題を解決するために必要だから存在する学問ではないでしょうか。

5. 先生ご自身の大学在学中での 1 番の思い出は何ですか？

「1 番の思い出」の定義が分からないのでお答えするのは難しいのですが、大学時代の良い思い出として残っているものの 1 つは、ゼミで仲間と研究して論文を書いたり、ディベートをしたことです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

字数が足りないので、ここには書けません。ゼミの履修要項等を参照してください。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

どこが気に入るかは、人それぞれだと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

人類は、長い目で見れば、野蛮な社会から理性的で自由な社会へ進んでいると言えるでしょうが、一直線に進むわけではなく繰り返し、野蛮な社会、欺瞞に満ちた社会への退行が起こっています。経済学や政治学、哲学などから、先人たちが苦闘し獲得してきた知識を学んで欲しいと思います。



林 健太（はやし けんた）

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報通信経済学です。インターネット・ビジネスにまつわることを研究対象としています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

昔はインターネットを如何に（早く）普及させるかといった、ハードウェアの整備に関心がありましたが、現在は、インターネット上を流れる様々なコンテンツを、人々がどのように消費しているのかを研究しています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

- ・井上智洋（2022）『メタバースと経済の未来』、文春新書
- ・ロバート・キヨサキ（2013）『金持ち父さん 貧乏父さん：アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学』、筑摩書房
- ・山崎元（2008）『エコノミック恋愛術』、ちくま新書

4. 経済学の魅力を教えてください。

世の中の動きを解明できること、また中立的な視点で世の中を見渡すことができるようになること、でしょうか。相手の立場に立って物事を考えられる癖がつく、と言った方が分かりやすいかもしれません。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

思い出と言えるかは分かりませんが、大学2年生の時に阪神・淡路大震災を経験したことで、人生観が大きく変わりました。死を間近に感じたことにより、後悔なく生きたい思いが強くなりました。それ以降、どんなにつまらなさそうに思えることでも、自分がやってみたいと感じたことには、積極的に手を出してみるように心がけています。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

卒業後もコンタクトを取り合えるようなOB・OGネットワークを構築することです。特に関西を離れ、首都圏で就職した人たちには、私が学会等で上京する際には、積極的に声をかけるようにしています。また、現役ゼミ生とOB・OGで食事を共にする機会を設けることもよくあります。結局、大学時代の一番の財産は人間関係だと思うので、同級生だけでなく卒業生や教員とも積極的にコミュニケーションを取れる人になってほしいですね。

あわせて、生成AIなどの新しい技術についても学び、近未来に備える力も養ってもらえればと思います。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

自分の研究室です。飲み物やお菓子も用意していますので、オフィスアワーに気軽に訪ねてきていただければ歓迎します。

8. 新入生に一言お願いします。

エッセイにも書きましたが、人間らしく、効率の悪い（一見、無駄と思える）ことを楽しんでください。

あまりタイムパフォーマンスを重視し過ぎず、色々なことを経験しながら、大学生活を大いにエンジョイしていただければ幸いです。



林 亮輔 (はやし りょうすけ)

関西学院大学経済学部卒業

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程修了

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

専門分野は「公共政策」です。公共政策とは「民間部門では解決することのできない公共的問題を解決するために公共部門が実施する政策」のことですが、公共部門の中でも地方自治体や国に焦点を当て、地方自治体や国が実施する公共政策について研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

グローバル化、少子高齢化、東京一極集中といった社会経済環境の変化の中で、多くの地域が衰退し、中には持続可能性すら危ぶまれている地域も存在します。持続可能な地域経済システムの構築という目的のもと、地域経済力の強化や、地域政策の担い手である地方自治体の行政運営の効率化を柱として研究を進めています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

皆さんにお勧めする「これ」という本はありません。言い換えれば、「皆さん自身が気になり手に取った本」がお勧めの本です。本を読むことは、皆さんの可能性を広げます。まずは本屋さんに行き、表紙のデザインやタイトルなど気になった本を手に取ってみることをお勧めします。

4. 経済学の魅力を教えてください。

経済学は、人々の選択・意思決定に関する学問です。そして、選択・意思

決定をするということは、何かを手に入れ何かを失うことに他なりません。例えば、服屋さんに行った際、所持金が限られていれば、洋服を買うために、靴を買うのを諦めなければなりません。私たちは、常に何かを選択し意思決定しなければならない状況に直面していることから、日常生活の意思決定において役に立つ学問であるという点が魅力だと思います。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

私の大学生活で最も大きなウエイトを占めていたのは「ゼミ」でした。ゼミで学んだことは今でも役に立っていますし、ゼミで出来た友人や先輩・後輩とは今でも付き合いがあります。ゼミのメンバーと夜遅くまで大学図書館に残って研究していたことが1番の思い出です。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

ゼミは大学生活の中心に位置することから、ゼミ活動が大学生活の充実度に直結します。そのため、積極的に学び、積極的に遊ぶといったメリハリのある、「参加することが楽しくなり、自分自身の成長が感じられるゼミ」を皆で作りに上げていくということを大切にしています。また、ゼミでは「考える力」を身に付けてほしいと考えています。社会で活躍する方々に話を伺うと、皆口を揃えて考える力を鍛えることの重要性を指摘されます。考える力はトレーニングをしなければ高まりません。したがって、自分自身の頭でまずは考える。そのことを大学生活で癖づけてほしいと思います。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

ほとんど研究室に籠っているため、お気に入りの場所はありません。

8. 新入生に一言お願いします。

大学では皆さん自身に時間の使い方が委ねられています。したがって、時間をどのように活用するかで今後の人生が大きく変化します。そのことを常に心に留め、有意義な学生生活を送ってください。



平井 健介（ひらい けんすけ）

博士（経済学、慶應義塾大学大学院）

1～5.

省略。バックナンバーを参照ください（ないかもしれませんが）。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでももらいたいのですか？

たとえば、私のゼミでこの質問をした学生がいたら、私は、「なぜ「大切にしていること」と「学んでももらいたいこと」を「また」で繋ぐのですか」と尋ねます。なぜなら、両者は独立して存在していると思えないからです。まず「学んでももらいたいこと」があって、それを実現するために「大切にされること」があるのではないのでしょうか。そうであるなら、「ゼミではどのようなことを学んでももらいたいのですか。そのために、どのようなことを大切にされていますか。」と質問すべきです。問う順番と接続詞に改善の余地があると、こう思うのです。

皆さんは、何気なく文章を読み、書いているかもしれません。しかし、小説を開いてみると分かりますが、順番を逆にしてもよい文章はほとんどなく、「そのために」を「また」に変えても意味の通るという文章もほとんどないことに気づくでしょう。

私のゼミでは、研究することや論文を書くことを通して、新しい「モノ」を生み出すことの楽しさや辛さを学んでももらいたいと思っています。そのために、論理的な思考をすること、たとえば、なぜその話をする必要があるのか、なぜその順番で話さなければならないのかを大切にしています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

省略。バックナンバーを参照ください（ないかもしれませんが）。

8. 新入生に一言お願いします。

いわゆる頭のいい人は、いわば脚の早い旅人のようなものである。人より先に人のまだ行かないところへ行きつくこともできるかわりに、途中の道ばた、あるいはちょっとしたわき道にある肝心なものを見落とす恐れがある。頭の悪い人、脚ののろい人が、ずっと後からおくれて来てわけもなくその大事な宝物を拾っていく場合がある。

頭のいい人は、いわば富士の裾野まで来て、そこから頂上を眺めただけで、それで富士の全体をのみこんで東京へ引き返すという心配がある。富士はやはり登ってみなければわからない。

〔中略〕

頭のいい学者はまた、何か思いついたことがあった場合にでも、その仕事の結果の価値という点から見ると、せっかく骨を折っても結局大した重要なものになりそうもない、という見込みをつけて着手しないで終わる場合が多い。しかし頭の悪い学者はそんな見込みが立たないために、人からはきわめてつまらないと思われることでも何でも、がむしゃらに仕事に取りついて、わきめもふらず進行していく。そうしているうちに、初めには予期しなかったような重大な結果にぶつかる機会も決して少なくはない。

〔中略〕

〔この文章〕を読んで不快に感ずる人は、きつとうらやむべき優れた頭のいい学者であろう。これを読んで何事をも考えない人は、おそらく科学の世界に縁のない科学教育者か科学商人の類であろうと思われる。

（寺田寅彦「科学者とあたま」より）

あなたが「頭の悪い学者」になることを心から願っています。ようこそ、甲南大学経済学部へ！！



宮尾 龍蔵 (みやお りゅうぞう)

神戸大学経済学部卒業

ハーバード大学大学院修了 Ph.D (経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

マクロ経済政策、金融です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

金融政策のマクロ経済効果に関する実証分析を行っています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

『経済学に何ができるか』（猪木武徳著、中公新書、2012）

4. 経済学の魅力を教えてください。

日本経済は、少子高齢化や長期の経済低迷、ポストコロナ期の物価高など、さまざまな課題を抱えています。経済学を学ぶ意義とは、そうした課題に対して、全体を俯瞰して、問題を設定する目を養い、解決に向けた方策を自ら考える、そうした力を身につけることだと考えます。物事を俯瞰して考える力は、大学を卒業して実社会に出られたあとも必ず役立つでしょう。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

クラブ活動（ESS）に打ち込んだことです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

分からないこと、感じたことは、ぜひ積極的に質問やコメントをして欲しいと思っています。質問やコメントをすることは、自分だけではなく、周りの人にとっても大きな学びとなります。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

新しく着任したばかりなので、これから探します。

8. 新入生に一言お願いします。

皆さんの前には大きな可能性が広がっています。さまざまな出会いを大切にして、ぜひ充実した大学生活を送ってください。



宮川敏治（みやかわ としじ）

関西学院大学経済学部卒(1993 年卒)

職歴：静岡大学、神戸大学、大阪経済大学を
経て、2020 年より甲南大学

1. 先生の専門分野は何ですか？

ゲーム理論です。特に、協力で発生した利益の分け方や協力関係の結び方の戦略的な側面を考察する交渉ゲーム理論を研究しています。メカニズム・デザインや協力ゲーム理論の研究もしています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

- (1) 不完備情報の非協力交渉ゲーム理論の拡張
- (2) 認知の違いが存在する状況での交渉理論の開発
- (3) 学校選択マッチングのメカニズム・デザイン(TTC と DA の統合)
- (4) 不完備情報の協力ゲーム理論（コア理論）の研究

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

- (1) アダム・スミス（著）村上（訳）『道徳感情論』日経 BP クラシックス：同感の理論は、ゲーム理論の「共通知識」や「社会正義」の考え方と繋がります。
- (2) ケネス・アロー（著）長名（訳）『社会的選択と個人的評価』勁草書房：社会問題を数学的に証明できることが知れます。
- (3) 吉田洋一・赤堀也『数学序説』ちくま学芸文庫：読むと高校までの数学が色褪せたものに見えてきて、新しい数学の世界が見えてきます。
- (4) デカルト（著）井上、森、野田（訳）『省察 情念論』中公クラシックス：考えることの素晴らしさを知ることができます。

4. 経済学の魅力を教えてください。

複雑な現実の背後にある「シンプルな論理や考え方」を抽出し、様々な事象にその考え方を適用しようとする姿勢が経済学の魅力だと思います。なので身につければ、どんな業種で働く場合でも役に立ちます。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

同郷（石川県）の関西に出てきていた人達で集まって、鍋を囲んで、記憶がなくなるほど飲んで、たくさん話をしたのが一番の思い出です。いろいろな大学の人がいて、結構な頻度で集まっていたような気がします。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいのですか？

複数名でのグループ研究を通じて「学ぶことの楽しさ」を知ってもらうことをゼミの目標にしています。それができることによって、社会に出たときに「楽しく仕事をする」コツがつかめると考えています。また、ゼミでは、ディベート、データ分析、プレゼンテーションの様々な技術を修得できるプログラムを用意していますが、結局は、それらを修得する過程で、「自分」を知り、「他者」を理解し、人間的に成長することが一番大切だと思っています。私自身は、卒業する最後の日までゼミ生一人ひとりと向き合うということを大切にしています。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所はありますか？

i-Commons のコンビニでアイスを買って、2号館のエレベーター前の椅子に座って、歩いている人を見ながら、食べるのが大学での楽しみの一つです。

8. 新入生に一言お願いします。

何でも良いので一生懸命になれるものを見つけてみてください。加えて、学ぶことを楽しんでもらえると大学生活はもっと充実します。



宮本 舞 (みやもと まい)

甲南大学経済学部 卒業

神戸大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程 修了

博士課程後期課程 修了(博士(経済学))

1. 先生の専門分野は何ですか？

環境経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

環境関連技術の開発・普及に関する特許データを用いた実証分析

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

お勧めの本はいろいろありますが、私のお勧めを読むより、
皆さん各自で他の誰かにお勧めしたくなるお気に入りの本を見つけて
ほしいと思います。

4. 経済学の魅力を教えてください。

社会課題を解決するための便利な道具である点。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

甲南大学経済学部在学中にゼミで取り組んだ研究、インゼミやアクティブスチューデントプログラムです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

「自主的に取り組むこと」と「他の人と協働すること」です。

どちらも社会に出てから必要な力だと思いますし、この2点を頑張らないと得られない楽しさがあると思っています。

7. 大学内で気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

私のお気に入りの場所ではありませんが、私のゼミ生はインゼミ前など、私に用事がないのにもかかわらず、私の研究室に来て作業しています。ちょっと散らかっている時もありますが、お気軽にお越しください。

8. 新入生に一言お願いします。

社会にはあなたにぴったりのやりたい仕事を用意されていないように、大学でも学びたいものが完全形で用意されているわけではありません。自分の工夫次第でとても面白くも、退屈にもなる4年間だと思います。皆さんの学生生活が充実したものになることを願っています。経済学を学んだから4年間で面白かった！と卒業時に感じてもらえるように、私も微力ながらサポートできればと思います。皆さんと一緒に学べるのを楽しみにしています。



村澤 康友（むらさわ やすとも）

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、(株)三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、応用計量経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

インフレ期待の計測、大学中退の意思決定の分析

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

ジョン・スチュアート・ミル「自由論」

ミルトン・フリードマン「資本主義と自由」

4. 経済学の魅力を教えてください。

自分の自由を貫き、他人の自由を尊重することの大切さを学べる。

5. 先生ご自身の大学在学中での 1 番の思い出は何ですか？

中国一人旅

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

統計検定 2 級を取得を目指すことと、グループでなく個人で研究し、研究テーマを自分で選ぶことを大切にしています。

私の教育の目標は「正確な情報に基づいて冷静な判断を下し、責任ある行動を取れる人物を育成する」ことなので、それを学んでもらいたいです。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

お気に入りには iCommons 4 階のテラス「i-Entrance」

おすすめしたいのは 10 号館 1 階奥の「知のラウンジ」(2025 年 4 月オープン予定)

8. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志（もり たけし）

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了（博士号取得）。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。
主な著書「日本のお金持ち研究」（共著）、
「日本のお医者さん研究」（共著）「団塊ジュニアの医療と介護」（共著）。

1. 先生の専門分野は何ですか？

家計の経済、健康経済、行動経済

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

経済格差。経済格差。積極財政

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

政治家・田中角栄に関する本。

例：石原慎太郎著「天才」

早坂茂三「おやじと私」

4. 経済学の魅力を教えてください。

世界基準の物差しで、自分の国を紹介できること。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

世界旅行をしたこと。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

学生が目を輝かせて、学び・遊ぶこと。

7. 大学内でお気に入りの場所やおすすめしたい場所がありますか？

別になし。

8. 新入生に一言お願いします。

読書はいいです。お金以上の価値があるのは、読書です。



森本 裕（もりもと ゆう）

2011 年 京都大学経済学部卒

2013 年 同研究科修士課程修了

2016 年 同研究科博士課程修了

2016 年 甲南大学 着任

1. 先生の専門分野は何ですか？

都市経済学と交通経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

交通経済学のなかの、航空市場の分析が専門です。関西三空港（関西国際空港・伊丹空港・神戸空港）の需要分析をしたり、地方空港の活性化について研究しています。

また、地域経済にも関心があるので、新しく研究をしたいと思っています。

3. 大学生の間に読んでほしい、お勧めの本を教えてください。

特にお勧めがあるわけではないのですが、自分の興味がある分野の本をまずは1冊読んでみてください。あまり専門性が高い本は挫折しやすいので、ビジネス書や自己啓発書のレベルのものからスタートすると思います。

4. 経済学の魅力を教えてください。

経済学は政策を考える学問なので、世の中の課題を解決したり、社会をよりよくする方法を見つけたりするのが魅力です。

5. 先生ご自身の大学在学中での1番の思い出は何ですか？

オランダに研究留学をしたことです。合計3か月だけなので、あまり長く滞在したのではないですが、海外経験をできたのは良かったです。

6. 先生のゼミではどのようなことを大切にされていますか、またどのようなことを学んでもらいたいですか？

学問に触れてもらうことを大切にしています。ゼミ以外の授業では座って聞くだけのことが多いので、なかなか経済学がどういうものかを理解するのは難しいと思います。ゼミでは、研究活動を通じて、経済学とは何かを理解してほしいと思います。

7. 大学内で気に入りの場所やおすすめしたい場所はありますか？

iCommonsは新しくてきれいなのでいい場所です。食堂やコンビニもあって便利です。4階には本屋があるのでふらっと立ち寄っても楽しいです。サークルに入ると、部室が3階や4階にあるので、iCommonsに滞在する機会も増えると思います。

8. 新入生に一言お願いします。

何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になっても重宝されるでしょう。

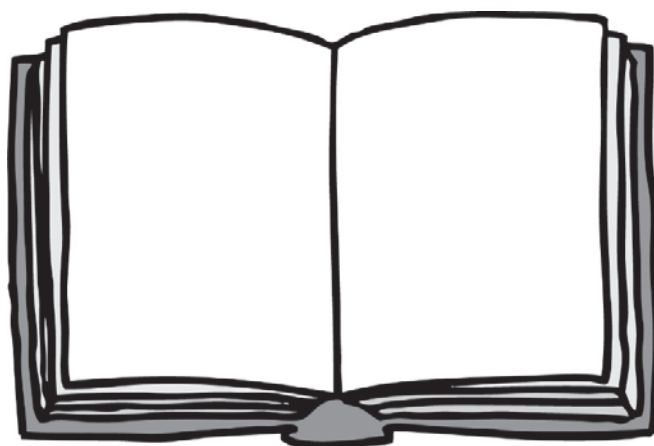


先輩からの学習アドバイス



大学ってどんな勉強
をするんだろう？

テスト勉強は何を
すればいいの？



先輩から学習アドバイス！

経済学部では必修科目として、「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」の4つを履修します。しかし、大学の授業を初めて受けるみなさんはどのように勉強すればいいのか、テスト対策はどのようにすればいいのかなど不安に思うことがたくさんあるかもしれません。そこで、経済学部の先輩が不安を解決したいと思います！（授業内容などは2024年度の情報を参考にしており、変更の可能性がございます。また、これらのアドバイスはあくまで先輩からの非公式のものであり、講義担当者の意図とは異なる場合がありますことをご理解ください。）

経済入門Ⅰ

【授業概要】

この授業は、大教室で講義を受ける「講義クラス」と、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」の2部構成で行われます。また、「講義クラス」の全15回が3人の先生方によるリレー形式で行われ、国際経済の動向、産業の特徴、市場のはたらきと失敗を理解したうえで、人々の福祉（幸福の度合い）を向上させる方法を学びます。（参考：2024年度シラバスより）

【普段の勉強方法】

- ・ 講義の中で、試験のヒントを貰えることが多かったのでしっかりと講義に出席して丁寧にノートを取っておくことが重要です。（2022年度 対面で履修）
- ・ まずは講義に休まず出席します。そして授業資料を用いて先生の講義を聞き、大事なところのメモをとりましょう。試験問題は授業資料から出されますので、授業資料を完璧に理解できたら試験で9割の点数は確実だと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ ミクロやマクロよりも記憶力が重要になるので、普段から講義に1限からしっかり行って毎授業覚えることが1番いいと思います。（2022年度 対面で履修）

【試験対策について】

- ・ 半期で3分野を学ぶことになるため、1つ1つの分野に丁寧に取り組むためにも早期から試験勉強を始めることが大切です。My KONANのQ&A機能で先生に質問をしたり、普段からノートテイクすることでテスト対策が楽になります。（2022年度 対面で履修）

経済入門Ⅱ

【授業概要】

この授業でも、「経済入門Ⅰ」と同様に「講義クラス」と「演習クラス」の2部構成で進められます。この授業では、世の中の経済活動におけるお金の流れについての基本的なしくみと、経済学における歴史的アプローチの重要性を学びます。全体は、「財政」「金融」「経済の歴史と思想」の3部から構成されます。（2024年度シラバスより）

【普段の勉強方法】

- ・ 3分野合わせるとかなりの量の授業資料があったので、資料に直接書き込んでいく形で勉強していました。苦手な分野などは、資料を見返すなど重点的に復習することが大切だと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ 経済入門Ⅱでは、金融・財政・経済の歴史と思想の内容を取り扱います。一見難しいように感じますが、講義に出席し、先生の話をしっかり聞いていれば理解できます。また、高校生の時に学んだ社会科目の内容と同じ部分もあります。それらを活かして内容を理解していくようにしましょう。（2022年度 対面で履修）
- ・ 後期で慣れてきて1限はきついかもかもしれませんが、講義に毎回出席することが重要だと思います。出席して頭の片隅にでも内容があれば、テスト前に思い出しやすいと思います。（2022年度 対面で履修）

【試験対策について】

- ・ 3分野を学ぶので暗記をしなければならないことが多いので、ノートにまとめ直すなど早めにテスト対策を始めておくことが重要だと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ 練習問題やテスト対策問題など先生方が提示してくださっている場合はそれを何も見なくても解けるようにすることがまずは大事です。また、練習問題などがない場合は記憶力の問題だと思うので、しっかり内容を理解しながら記憶すればよいと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ 授業ノートをさらに整理したテスト対策ノートを作っていました。また、授業内で文章で説明する問題が出されたことがあったため、言葉をただ覚えるだけでなくその意味や内容、仕組みをきちんと説明できるように心がけて学習していました。なお、課題の復習や見直もテスト対策にとっても役立ちました。課題は出し終わってもテストが終わるまでは手元に残したほうがよいと思います。（2022年度 対面で履修）

入門ミクロ経済学

【授業概要】

「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」と同様に、大教室で授業を受ける「講義クラス」1コマ、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」1コマの計2コマで行われます。この授業では、需要と供給について詳しく説明したのち、売買の帰結としての市場均衡について取り扱います。また、市場均衡が社会にとって望ましくなる条件や、望ましくない結果になったときに政府がどのように対処すべきかについて解説します。（2024年度シラバスより）

【普段の勉強方法】

- ・ 演習クラスで配布されたプリントを繰り返し見て復習していました。プリントはその回の授業内容に沿った問題が中心だったので、理解できるまでクラスメイトや先生に質問して疑問点を次の日に持ち越さないように心がけました。（2022年度 対面で履修）
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので、曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しくて理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。（2022年度 対面で履修）
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強すべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。（2022年度 対面で履修）

【試験対策について】

- ・ 授業中に配られたプリントの問題を繰り返し解いて、何も見なくても解けるようにしました。また、中間テストや中間レポートもしっかり見直してテストに挑みました。（2022年度 対面で履修）
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しくて理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強すべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。

入門マクロ経済学

【授業概要】

マクロ経済学の基礎を学びます。「マクロ経済学」とは、一国の経済を俯瞰的かつ全体的に捉え、その仕組みを明らかにする経済学の基礎的な分野です。マクロ経済学の主な課題は、一国の経済活動の規模やその変化が、どのような要因によって、いかにして決定されるのかを分析して、私たちの生活や人生に大きな影響を与えうる景気循環や経済成長などが生じる原因と仕組みを明らかにすることです。本授業科目では、そのために必要となる基礎的な諸概念とそれらの間の相互関係について学びます。（2024年度シラバスより）

【普段の勉強方法】

- ・ マクロ経済学では多くの公式を用います。公式を覚える時に、ただ記号の羅列で暗記するだけでは実際に問題を解く時に応用できません。なので、記号が表していることは何なのかと公式が成り立つ経緯を理解したうえで問題に望むと解きやすいと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ 後から見返したときにもよく分かるように、講義のノートを丁寧にまとめることを心がけました。また、演習クラスで解く練習問題を何度も解き直しました。（2022年度 対面で履修）
- ・ 計算問題がミクロに比べて多くなるので、計算力が必要になります。問題から必要な数字を汲み取ることと公式を覚えることが勉強する上で基本的には重要だと思います。（2022年度 対面で履修）

【試験対策について】

- ・ 授業中の練習問題や中間テストを最低2回は解き直して、テストに挑みます。講義のノートが丁寧であればあるほどテスト対策の効率がアップします。（2022年度 対面で履修）
- ・ 試験勉強は1人でするときと、友達とするときの両方の時間を設けました。1人でするときは分からないことをピックアップしたり、ノートにまとめたりします。それを友達とするときには共有し、分からないことについて質問したり答えたりします。そしてまた1人でするときに暗記、練習問題を繰り返します。そうすると効率よく勉強できました。（2022年度 対面で履修）

The background of the page is a light gray with a pattern of small, dark gray, teardrop-shaped petals scattered across it, suggesting a gentle rain of cherry blossoms.

卒業生からの メッセージ

新入生の皆さんへ

2024 年度卒業生

宮川ゼミナール 布引 藍子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「大学」という新たな環境を前に、期待や不安、さまざまな感情が渦巻いていることと思います。私も大学1年生の頃は不安でいっぱいでした。しかし、今振り返ると、大学4年間で楽しく充実した日々を満喫し、「大学生活がもっと続けばいいのに」と思うほど、最高の大学生活を送ることができました。皆さんにも素敵な4年間を送ってもらいたいため、私から2つアドバイスを記します。

1つ目は、「何でもまずはチャレンジしてみる」ということです。高校までとは違い、大学はとても自由な場所です。堅苦しい校則もなければ、決められた時間割也没有ありません。この自由な環境を活かして、ぜひさまざまな挑戦をしてみてください。例えば、部活・サークルに所属する、アルバイトを始める、勉強を頑張る、髪を染める、一人旅をしてみる……などなど。私の場合は、甲南大学経済学会での活動や習い事、ゼミ活動など、たくさんの目標を掲げて挑戦しました。小さな目標でも大きな目標でも構いませんし、途中で気が変わっても良いと思います。失敗を恐れずに一歩踏み出してみましょう。

2つ目は、「さまざまな授業を受けてみる」ということです。先程述べた通り、大学では自分の好きな授業を選択して受講することができます。経済学部の場合、1年生の間は必修科目が多く、選択肢の幅も狭いですが、2年生以降になると選択できる授業の種類が増え、自由度の高い時間割作成が可能です。ぜひこの機会を活かして、「面白そう!」と思ったものは、まず履修登録をしてみてください。私は高校まで経済学のことをよく知らなかったのですが、大学に入ってさまざまな授業を受講していく中で、「カネとモノ、人の動き」を多角的に見て分析するために、行動経済学や公共経済学、環境経済学など、経済学にはたくさんの分野が存在しているのだと知りました。これらの授業での学びを通して、自分の興味の幅が広がったと実感しています。しかし、時間の余裕がなく、興味はあったのに受講できなかった科目が多々あり、今になって「授業を聞きたかったな」ということもしばしばあります。後で後悔しないためにも、少しでも興味が湧いたら1回目の授業を聞きに行ってみてください。

いかがだったでしょうか?これはあくまで私の意見ですので、参考程度にして、自分なりに楽しい大学生活を模索してみてください。最後になりますが、4年という時間は想像以上にあっという間に終わります。せっかくの自由な時間ですから、卒業するときに「楽しかったな!」「充実していたな!」と思える有意義な4年間にしてほしいと思います。皆さんの大学生活が彩り豊かなものになりますように、心よりお祈りしております。

新入生のみなさんへ

2024 年度卒業生

宮川ゼミナール 黒岡 華子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

正直、楽しい学生生活を送ればなんでもいいと思うのですが、せっかく私たちの後輩になってくださったみなさんには、より充実した学生生活を送ってほしいと思うので、私が大学生活を経て感じたことを、少し真面目に書きます。

大学生活は人生の夏休みと言われるほど自由な時間です。今のみなさんは本当になんでもできるし、なんにでもなれると思います。ですが、それには「これがしたい」「こうなりたい」と自ら方針を決める意思が必要不可欠です。なぜなら、今までのように、学校側から課題や機会を与えられて、勝手に経験値が増えていく、なんてことはほとんど無いからです。ですので、今まで興味があつたけれどチャレンジできなかったことがあったり、少しでも興味を持つ事柄に出会えたりした時は、ぜひ大学生のうちに挑戦してみてください。また、自分が興味を持てることを常に見つけ続ける自主性も大切です。

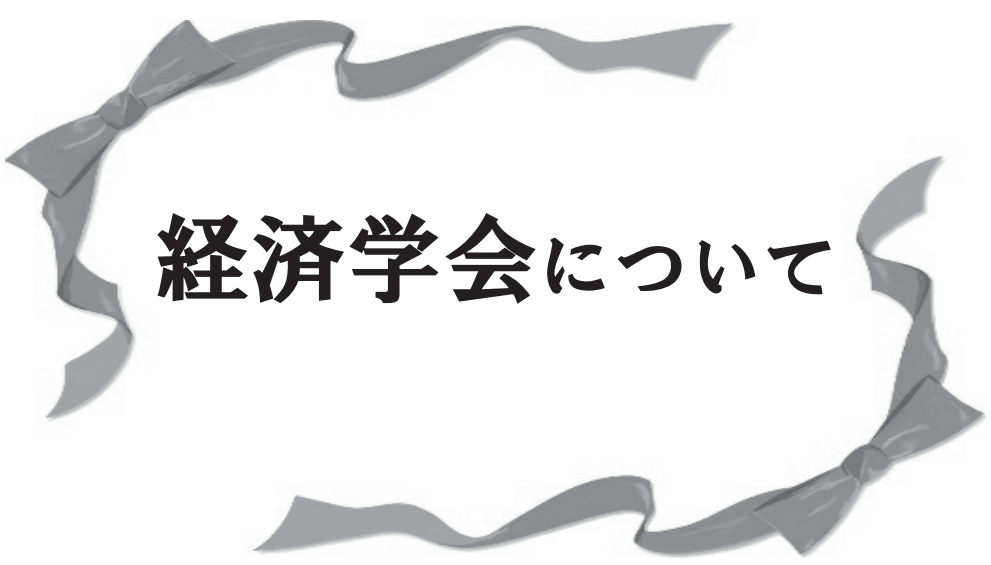
また、大学生活は本当に多くの人と出会う機会に溢れています。年齢や出身地、属してきたコミュニティ等いろいろなバックグラウンドを持った人と出会うでしょう。そこでの出会いを大切にしてほしいです。偏見や思い込みを捨てて、これまで自分が関わってこなかったタイプの人とも積極的に話してみてください。きっと自分がこれまで当たり前だと思っていた価値観が覆されたり、知らないことを知れたり、新たな発見がたくさんあると思います。その出会いや発見をきっかけに、みなさんの人生が大きく変わる可能性もあることを忘れないでください。

そして、授業はしっかり受けましょう。どんな過程であれ甲南大学の経済学部で学ぶ機会を得たのですから、その機会を存分に活かした方が良いです。ここで学んだ知識が直接的に役立つ機会は少ないかもしれませんが、しかし、就職活動など先の人生の中で、ここで学んだ考え方や知識が応用できる場面にきっと出会います。

私は、4年間大学に通ってみて、大学とは自分の価値観を育てる場所だと考えるようになりました。ですので、自分がどんな人間になりたいのか、どんな人生を歩みたいのか、何を目標せば自分の人生はより豊かになるのか。大学での出会いや経験を通して、それを見極める力をつけることに是非全力を注いでほしいと思います。そして大学を卒業するときに「最高の大学生活だった」と思える学生生活を送ってください。

不安なことも多いと思いますが、みなさんの未来の可能性は本当に無限大です。

どんな時も決して諦めずに、貴重な大学生活を謳歌してください！



経済学会について

経済学会へようこそ！

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！甲南大学経済学部に入學したみなさんは同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。

経済学会とは？

甲南大学経済学会とは、専任教員・経済学部生・大学院学生で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより良い大学生活を送れるように日々活動を行っています。

主な行事紹介

・講演会(5月 10月)

経済学会では前期と後期に1回筒講演会を企画し、実施しています。講演会では外部の方に講演をしていただいています。

・ゼミ紹介(2回生以上対象)

後期から始まるゼミⅠを選択する際に参考にできます。対象は、2回生以上ですが、1回生もゼミについて知ることのできる機会です。



～講演会の様子～

・経済学部インナーゼミナール大会(12月)

ゼミ担当教員のもとで学生が研究活動を行う授業である『ゼミ』において行った研究成果を発表する大会です。経済学会が企画・運営する最大の行事です。

詳しく知りたい方は、右記のQRコードから
甲南大学経済学会ホームページをご覧ください



←経済学会 HP
QRコード

～学生評議員・スタッフにインタビュー～

経済学会に入ったきっかけは何ですか？



私が経済学会に入ったきっかけは、経済学会という組織の存在を知り、実際に経済コモンルームへ足を運んでみたことでした。大学生活について全くわからない私の疑問に対して、先輩が1つ1つ丁寧に回答してくださりました。「経済学会の先輩」は、なにもわからない私にとって、とても心強い存在でした。私もいつか学生にとって心強い存在だと思われるようなサポートをしてみたい、と思い、経済学会に入ることをきめました。

経済学会に入ってよかったことはありますか？



経済学会に入ってよかったと感じることは沢山ありますが、特に社会に出た後に役立つ知識が活動を通して自然と身につく点でよかったと感じています。例えば、先生方や外部の方に対してメールをお送りしたり、学生自らアイデアを出したり、提案することがあります。これは、経済学会に所属したからこそできる経験であり、とても貴重な体験であったと感じます。



経済学会メンバー募集！

経済学会に興味がある方はコモンルーム(5号館5階)へ！

経済学会ではX(旧 Twitter)にて活動風景などを投稿しています

DM、質問箱などで質問も受け付けております！

X(旧 Twitter)

QRコード➡



甲南大学 経済学会会則



甲 南 大 学 経 済 学 会 会 則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則として、甲南大学経済学部生・甲南大学院社会科学部研究科経済学専攻の大学院生ならびに甲南大学経済学部の専任教員によって組織する。また、学部卒業生・大学院修了者のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者も加入することができる。

第 3 条 会費については以下のとおり定める。

教 員 年 会 費 5,000 円

学 部 学 生 会 費（在学期間） 20,000 円

大学院学生 会 費（在学期間） 10,000 円

又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

なお、いったん納入された会費は、理由のいかんに関わらず返還しない。

第 4 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 5 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. インナーゼミナール大会
2. 講演会
3. 研究会
4. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
5. 学会ニュースの発行
6. 研究・教育資料の収集・管理
7. 専任教員による研究書の刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 6 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。

第 7 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 8 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第 9 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務と記録を統括する。

2. 会計委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名ならびに学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会ニュース等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、研究会、講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第 10 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第 11 条 本会の事業とそれにとまう予算の執行を厳正・公平に対処すべく、教員 1 名ならびに学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。

第 12 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第 13 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。

第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会が開催されなければならない。

第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

1. 評議員会が必要と認めたとき
2. 経済学部教員 3 分の 2 以上の要求があったとき
3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき

第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 5 分の 1 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項
- 第 3 条 評議員長は、原則として毎月 1 回定期評議員会を招集しなければならない。
- 第 4 条 評議員長は、次の場合 10 日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。
1. 評議員長が必要と認めたとき
 2. 評議員 3 名以上が必要と認めたとき
 3. 学生会員 30 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 30 名以上の要求があったとき
- 第 5 条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 6 条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 付 則 4 年次に評議員に就任した学生は卒業をもって退任とする。また、評議員の辞任は、評議員長へ辞任届を提出しなければならない。その書式は別に定める。

卒 業 生 ・ 修 了 者 会 員 細 則

昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会制定承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 甲南大学経済学部卒業生及び社会科学研究科経済学専攻の修了者のうち、経済学会への入会希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度または修了年度、現住所を経済学会評議員会に申請し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。申請は学位授与式 2 ヶ月前からできるものとする。
- 第 2 条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年 1 月から 3 月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

- 第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。
- 第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。
- 第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。